

シーエルセントリ錠 150mg

【この薬は？】

販売名	シーエルセントリ錠 150mg Celsentri Tablets
一般名	マラビロク Maraviroc
含有量 (1錠中)	マラビロク 150mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」

<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗ウイルス化学療法剤（CCR5阻害剤）と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、CCR5指向性（しこうせい）HIV（ヒト免疫不全ウイルス）が細胞に進入する際に利用するCCR5受容体を阻害してウイルスの増殖をおさえます。
- ・次の病気の人に処方されます。

CCR5指向性HIV-1感染症

- ・この薬は、他の抗HIV薬と併用されます。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると、病気が悪化したり、効きにくくなるおそれがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にシーエルセントリ錠に含まれる成分で過敏症のあった人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・心臓に重篤な障害がある人または過去に心臓に重篤な障害があった人
 - ・B型・C型肝炎の人
 - ・過去に起立性低血圧になったことがある人
 - ・血圧を下げる薬を飲んでいる人
 - ・腎臓に障害（クレアチニンクリアランスが80mL/分未満）がある人
 - ・肝臓に障害がある人
 - ・妊婦または妊娠している可能性のある人
 - ・授乳中の人
- この薬には併用を注意すべき薬や飲食物があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- この薬を使用する前に、血液中のH I Vの種類を調べ、この薬が使用できるかを確認する検査（指向性検査）が行われます。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人では、1回2錠を1日2回食事の有無にかかわらず飲みます。
併用薬の種類によって飲む量が決められます。
特に腎臓に障害がある人においては慎重に飲む量と投与間隔が決められます。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。
気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- この薬は、患者さんやそれに代わる適切な人が次の点について十分に理解できるまで説明を受け、同意してから使用が開始されます。
 - ・この薬は、H I V感染症を根本的に治すものではありません。この薬を飲んでいても、病気が進行する可能性がありますので、この薬を飲んでいる間の身体状況の変化は全て医師に報告してください。
 - ・医師の指示を受けずにこの薬の飲む量を変えたり、飲むことを止めたりしないでください。
 - ・この薬を長く飲んだ場合の影響についてはわかっていません。

・この薬は他の薬との飲み合わせなどに注意する必要があります。現在使っている薬をすべて医師に報告してください。また、新たに薬を使い始める場合はあらかじめ医師に相談してください。

○この薬を含めて、複数のH I V感染症の治療薬を飲み始めた後、免疫力が回復し、日和見感染などに対する炎症反応（発熱、下痢など）があらわれたり、悪化したり、自己免疫疾患*（甲状腺機能亢進症、多発性筋炎、ギラン・バレー症候群、ブドウ膜炎など）があらわれたりすることがあります。

*自己免疫疾患：自分自身の正常な細胞や組織に対して過剰な免疫反応が起るため発症する疾患

○この薬により、体の抵抗力が弱まり、かぜなどの感染症にかかりやすくなったり、感染症が悪化したりすることがあります。人混みを避けたり、外出後は手洗いやうがいをしたりするなど感染症には気をつけてください。

○めまいなどをおこす可能性がありますので、高所作業、自転車の運転など危険を伴う機械の操作には注意してください。

○妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。

○授乳を避けてください。

○セイヨウオトログソウ（セント・ジョーンズ・ワート）含有食品はこの薬の効果を下げおそれがありますので控えてください。

○他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
心筋虚血 しんきんきょけつ	しめ付けられるような胸の痛み、胸を強く押さえつけられた感じ、冷汗が出る、あごの痛み、左腕の痛み
肝硬変 かんこうへん	体がだるい、吐き気、食欲不振、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）、意識の低下
肝不全 かんふぜん	意識の低下、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）

肺炎 はいえん	発熱、咳、痰、息切れ、息苦しい
食道カンジダ症 しょくどうカンジダしょう	飲み込みにくい、胸やけ、嘔吐（おうと）
胆管癌 たんかんがん	体がだるい、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、上腹部痛
汎血球減少症 はんけつきゅうげんしょうしょう	めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきからの出血、息切れ、動悸（どうき）、あおあざができる、出血しやすい、発熱、寒気、喉の痛み
好中球減少症 こうちゅうきゅうげんしょうしょう	発熱、寒気、喉の痛み
リンパ節症 リンパせつしょう	リンパ節（首、わきの下、股の付け根など）のはれ
幻覚 げんかく	実際には存在しないものを存在するかのようを感じる
脳血管発作 のうけっかんほっさ	突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然片側の手足が動かしくくなる、突然の頭痛、突然の嘔吐、突然のめまい、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる
意識消失 いしきしょうしつ	意識の消失
てんかん てんかん	顔や手足の筋肉がびくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
小発作てんかん しょうほっさてんかん	意識が短時間とぎれる、話しかけても反応がない、動きが止まる
痙攣 けいれん	顔や手足の筋肉がびくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
顔面神経麻痺 がんめんしんけいまひ	顔のゆがみ、顔の筋肉のまひ、涙がでにくい、しゃべりにくい、ものを食べにくい、口の中の水分がこぼれやすい、味覚が低下
多発ニューロパシー たはつニューロパシー	手足のしびれ、痛み、力が入らない、筋萎縮、手足のふるえ
反射消失 はんしゃしょうしつ	膝下や肘より先の腱反射（けんはんしゃ）の消失
白内障 はくないしょう	視力の低下、かすんで見える、まぶしい、眼鏡で視力が出ない
呼吸窮迫 こきゅうきゅうはく	息苦しい、呼吸が浅くなる、咳、痰、呼吸がはやくなる、脈が速くなる、手足の爪が青紫～暗紫色になる、唇が青紫色になる
気管支痙攣 きかんしけいれん	息がぜいぜいする、息をするときヒューヒューと音がする、突然の息切れ
膵炎 すいえん	強い腹痛、背中への痛み、お腹が張る、吐き気、嘔吐、体重が減る、喉が渇く、尿量が増える、

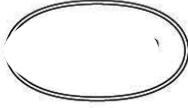
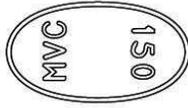
	皮膚が黄色くなる、油っぽい下痢が出る
直腸出血 ちよくちようしゅつけつ	下腹部の痛み、便に血が混じる、肛門から血液が出てくる
筋炎 きんえん	筋力の低下、筋肉の痛み・はれ・熱感
腎不全 じんふぜん	尿量が減る、むくみ、体がだるい
多尿 たによう	尿量が増える
皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん (ステーブンス-ジョンソンしょうこうぐん)	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	むくみ、寒気、顔や手足の筋肉がぴくつく、急激に体重が増える、出血しやすい、体がかゆくなる、体がだるい、体重が減る、痛み、発熱、力が入らない、冷汗が出る、リンパ節（首、わきの下、股の付け根など）のはれ、動きが止まる
頭部	めまい、意識の消失、意識の低下、一時的にボーっとする、意識が短時間とぎれる、話しかけても反応がない、実際には存在しないものを存在するかのように感じる、突然のめまい、突然の意識の消失、突然の意識の低下、突然の頭痛
顔面	あごの痛み、顔のゆがみ、顔の筋肉のまひ、鼻血
眼	かすんで見える、まぶしい、眼鏡で視力が出ない、視力の低下、白目が黄色くなる、目の充血やただれ、涙がでにくい
耳	耳鳴り
口や喉	しゃべりにくい、ものを食べにくい、飲み込みにくい、咳、血を吐く、口の中の水分がこぼれやすい、喉が渇く、喉の痛み、歯ぐきからの出血、唇が青紫色になる、唇や口内のただれ、吐き気、突然しゃべりにくくなる、突然の嘔吐、突然言葉が出にくくなる、味覚が低下、嘔吐、痰
胸部	しめ付けられるような胸の痛み、胸やけ、胸を強く押さえつけられた感じ、呼吸がはやくなる、呼吸が浅くなる、息がぜいぜいする、息をするときヒューヒューと音がする、息苦しい、息切れ、動悸、突然の息切れ
腹部	お腹が張る、下腹部の痛み、強い腹痛、食欲不振、上腹部痛
背中	背中での痛み
手・足	左腕の痛み、手足のしびれ、手足のふるえ、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える、手足の爪が青紫～暗紫色になる、突

	然片側の手足が動かしにくくなる、脈が速くなる、膝下や肘より先の腱反射の消失
皮膚	あおあざができる、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、皮膚が黄色くなる
筋肉	筋萎縮、筋肉の痛み・はれ・熱感、筋力の低下
便	便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）、便に血が混じる、肛門から血液が出てくる、油っぽい下痢が出る
尿	尿の色が濃くなる、尿量が減る、尿量が増える
その他	判断力の低下

【この薬の形は？】

	楕円形の錠剤		
形状			
直径	長径：15.7mm、短径：8.7mm		
厚さ	4.7mm		
重さ	624mg		
色	青色		
識別コード	MVC 150		

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	マラビロク
添加剤	結晶セルロース、無水リン酸水素カルシウム、デンプングリコール酸ナトリウム、ステアリン酸マグネシウム、ポリビニルアルコール（部分けん化物）、タルク、酸化チタン、マクロゴール 4000、大豆レシチン、青色 2 号

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

販売会社：グラクソ・スミスクライン株式会社

(<http://jp.gsk.com>)

ヴィーブヘルスケア・カスタマー・サービス

電話：0120-066-525

受付時間：9時～17時45分（土、日、祝日および当社休日
を除く）

製造販売会社：ヴィーブヘルスケア株式会社

(<http://glaxosmithkline.co.jp/viiv/index.html>)